

【礼拝賛美】鹿のように
谷川の流れを慕う鹿のように
主よわが魂 あなたを慕う
あなたこそ わが盾
あなたこそ わが力
あなたこそ わが望み
われは主を仰ぐ

【教団のためにお祈りください】

第61回 年次総会

日時 3月3日(日) 15時より

会場 蒲田シオン 礼拝堂

代議員は全員で19名(教職7信徒12)。それに加えて会計監査人2名、陪席者7名で、出席対象者の総勢は28名です(内、陪席者数名が欠席予定)。

林眞光修養生が伝道師任命を受ける予定です。3日は任命式のもとにすぐに教会を発ち、インマヌエル船橋教会での伝道会奉仕。8日は神学院卒業式です。

No.49 2024・3・3

それからイエスは、悪魔の試みを受けるために、御霊に導かれて荒野に上つていかれた。

イエス様は荒野で40日を過ごしました。荒野は身を宿す建物もなければ、食料を手に入れることもできません。水場さえもわずかです。身一つで過ごし、人間という存在の弱さや小ささを思い知る世界です。イエス様は「御霊に導かれて」荒野で過ごしました。厳しい環境の荒野で過ごすことは神の御心であったということなのです。

その荒野でイエス様は「断食」をしました。これは、祈りに集中した、という意味です。父なる神様と一対一で向き合うことに時間を費やしたということです。何も無い世界でただひたすらに父なる神と向き合ったのです。

今、私たちはレント(受難節)を過ごして

マタイの福音書 4章1節

ています。ある教派の人々はこの季節に断食をします。古来よりレントはそのように過ごされてきました。それは、断食によってイエス様の十字架の御苦しみに近い思いを馳せ、それと共に、祈りに集中する、という意図があり、そこには「神と出会う」ということが意図されているのです。

私たちは人生の旅路で荒野のような状況を通ることがあります。試練や困難、厳しい状況をくぐり抜ける時、人の助けを求めても手を借りることができず、心が衰え果てる場合があります。そして、神は私を助けてくれないのか…と寂しくなります。

しかし、そうではありません。その時こそ神と出会う時です。

イエス様は厳しい荒野の環境で、父なる神様との十二分な語らいの時を過ごしました。みことばの深い思い巡らしがあったことでしょう。

けれども、そのような神との交わりを妨げる力が襲いかかるのも荒野の現実です。悪魔がイエス様を誘惑し、父なる神様から引き離そうとしました。悪魔は私たちに對しても同じように働きかけます。特に私たちが荒野のような状況を通るときに、悪魔の誘惑を受け信仰は試みられます。

イエス様はみことばによって悪魔の誘惑を退けました。みことばは悪魔と戦う武器であり、私たちを励ます力です。イエス様が悪魔を退けた背後には、それまでの荒野での神との語らいがあったわけです。私たちが日頃から、みことばによる神との交わりを深めましょう。(泰)

3月3日 聖日礼拝
 第1礼拝 9時 荻野牧師 荻野し兄
 第2礼拝 11時 荻野牧師 高橋美姉

前奏
 招詞 詩篇46篇10節
 会衆賛美 聖歌110
 会衆賛美 鹿のように(2回)
 主の祈り 詩篇3篇1〜8節
 交誦 (旧約聖書 935頁)

礼拝祈禱
 使徒信条
 聖書朗読 マタイの福音書
 4章1〜11節
 (新約聖書 5頁)

説教 荒野で神と会う 荻野泰弘牧師

聖餐 (第2礼拝)
 会衆賛美 聖歌505
 頌金 聖歌376
 祝禱

報告
 感謝祈禱 奏楽

※第1礼拝は、礼拝後に聖餐式

【招詞(主の招きのことば)】
 詩篇46篇10節 「やめよ。知れ。わたしこそ神。わたしは国々の間であがめられ 地の上であがめられる」
 アーメン

【本日(主)の予定】
 ■会堂清掃 第1・第2礼拝終了後
 ■小学科礼拝 3階 11時
 ■ホザナ礼拝(変更)
 一般礼拝に合流です
 ■バイブルカフェ
 談話室 12時15分〜45分

■各会例会
 ダニエル会 6階
 ミモザ会 3階
 オリブ会 4階牧師室

■第61回年次総会(教団)
 礼拝堂 15時より
 総会后、夕食(弁当) 3階

【本日(主)の礼拝奉仕者】
 ■第1礼拝
 礼拝祈禱 司会者
 聖書朗読 司会者
 献金1階
 献金祈禱 司会者
 報告 荻野牧師
 受付 荻野牧師
 配信 配信チーム
 聖餐

■第2礼拝
 礼拝祈禱
 聖書朗読
 献金1階
 1階
 2階
 献金祈禱 司会者
 報告 荻野牧師
 会場 荻野牧師
 受付
 聖餐

【来週の礼拝説教】
 説教者 荻野牧師
 聖書箇所 コリント第一
 9章19〜23節

公 示

左記の通り、定期教会総会を開催致します。正会員の皆様にはご出席をよろしくお願い致します。

記

総会日 2024年3月17日(日)

議題
 ・役員改選
 ・2024年度教会活動計画
 ・2024年度予算案
 ・創立90周年事業案および
 予算案

2024年3月3日
 宗教法人生オン・キリスト教会
 役員会

※「議決権行使書」の郵便での提出について
 現在は普通郵便の土曜日の配達はありません。郵便で返送の場合は早めに投函してください。今回は「料金受取人払」による郵便です。通常よりも1日ほど日数が掛かることを了解ください。目安として、3月11日(月)迄に投函してください。

【レントを過す心】
 イエス様の十字架を記念するレントを過ごしています。前にも書きましたが、古来、聖徒たちは断食をしながらこの時を過ごし、祈りに集中し、主の御苦しみに思いを馳せました。シオン教会では断食の励行はしていませんが、レントの持つ意味は受け止め、その心は次の時代へ繋ぎたいと願います。「レントへの招き」と題した一文があるので紹介します。

【出典】
 「よくわかるキリスト教の暦」
 (今橋朗著 キリスト新聞社
 2003年) 44頁

「レントへの招き」
 主にあって愛する兄弟姉妹。代々の教会は我らの主の苦難と復活とを記念するこの期節を、深い献身の思いをこめて守ってきました。深い悔い改めと断食と祈りの時としてこれを守り、イースターに備えることが教会のなわしとなったのです。
 信仰に導かれた者が、キリストの体なる教会に加えられるための洗礼の準備の時として、同時に、信仰共同体

から離れていた者たちが、悔い改めと赦しを通して再び和解を与えられて教会の交わりへと回復される時として、この40日間は大切にされてきました。

したがって全会衆は、イエス・キリストの福音が告げ知らせる神の慈しみと赦しを思い起こし、洗礼によつてすでに与えられている信仰を更新しなければなりません。

そこで私は、御名によって、この聖なるレントへとあなたがたを招きます。自らをかえりみ、悔い改めと祈りと断食と愛の献げ物によつてこの期節を守りましょう。神のみことばに親しみ、これを味わいつつ、切に祈りましょう。」